

時事新報

第三千六百八十三號
明治廿六年六月十六日 金曜日
舊曆癸巳五月三日 (甲申)
日出版四時三十分
月出版九時三十分
年出版九時三十分
西曆一千八百九十三年

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり 時事新報には每號詳細なる商況物價の報告あり

當撰俳優の肖像

青年俳優團の爲め撰て本社が募集したる投票の結果は市川米藏、市川猿之助、尾上菊之助の三名高票を以て當撰したるに就き右當撰者の外に梨園社會の老將として有名な市川團十郎、尾上菊五郎、市川左團次の三名を加へ都合六名の肖像を美麗なる石版摺を爲し本月末の時事新報附録として著く購讀者に頒つべし

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價送送料廣告料は左の如し
一 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
○ 時事新報社より直送スルモノハ右定價ノ外二月十三日ノ送送料ヲ由ス

時事新報廣告料(前頁)
一行五號活字廿四行 一日以上七日以上
一行一付十三號十一行一號十號五號

本社(寄稿)に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填塞するより各社同一の記事を掲ぐるものと算からず獨り時事新報社社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずとも唯世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信する方多きが如し爲めに本行進ひを生じたる場合も算からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送せらるべきを請ふ

時事新報

南洋の土人學ぶ可し

南洋カロン群島の酋長弟サミ同妻弟ウカリノ二人は頃日東京に在り高樓大廈、衣香履影、大都繁華の様を見て只驚くの外なく歸國一年程は語る話も盡きまじとて大に喜び居ると云ふ實に彼等の身に取ては都て是れ生來未だ嘗て見ざるの奇にして尙ほ文明國、人情の信切なる生活の安穩なるは有形なる事物の外に深く心を動かせしものならんか心中思ひ遣らるゝ次第なり昔米國の土人を英京倫敦に連れ來りたるものとあり土人は深て閑居たる倫敦(行く)と云ふれば一世の思ひ出に逢ふ人の數をかぞへ見んと先づ一振の棒を用意し一人に逢ふ毎に一點づ棒に印を付けて國元への土産にせんもの身構油斷なく情英京に到りしに滿目の人衆の如く到底數へ得べき限に非ず棒を握いて空しく歸りたるの日、倫敦の人は如何に問ふ者ありしに彼の天上の星の如く無算なりと答へたりと云ふ今の南洋の土人は南洋の節も如何なる響を引き何を比較として日本の話を爲す可きや我輩の想像に堪えざる所なり、兎にも角にも彼等は一生にして殆んど一生を得たるに均しく人生無二の幸福にして事物の新奇に接し胸

官報

○通信省告示第七十號
自今日日本帝國發萬國郵便聯合外諸國郵便物稅率左ノ通相定ム
明治二十六年六月十五日
通信大臣伯耆縣田清

品名	單位	稅率
南洋郵便物	郵便物	一〇分
南洋郵便物	郵便物	一〇分
南洋郵便物	郵便物	一〇分
南洋郵便物	郵便物	一〇分
南洋郵便物	郵便物	一〇分
南洋郵便物	郵便物	一〇分
南洋郵便物	郵便物	一〇分
南洋郵便物	郵便物	一〇分
南洋郵便物	郵便物	一〇分
南洋郵便物	郵便物	一〇分

雜報

○下賜金二萬圓の使途 去る十三日午後東京都議會を開き桓武天皇紀念祭に付き今回陸下より下賜せられたる二萬圓の使途に就て協議せり即ち此事に關し先きに上京せし内貴三郎氏は東京に於て協議會に打合せをなしたる結果を報告せり其要旨は二萬圓の下賜金は大極殿竣工の上協議會より京都市に引渡すべき都合なるも此金は大極殿建築費等には使用せしめず意を違奉する爲め永く市の財源と爲し其利子を以て大極殿の保存費に充つべし尙ほ別途に協議會より京都市に二萬圓の敷地買上料を贈るべき旨近衛會長より述べたりと云ふに在りしなり

○自由新聞主筆の更迭 自由新聞社にては今度社務を擴張し紙面を改良せんと計畫ある由にて近々内現任主筆金森通倫氏は同社を退き更に栗原亮一小松三省の兩代議士入社して筆硯に従事する管なりと云

○土木官吏殺害せらる 兵庫縣の臨時雇橋本實忠氏(二十二年)は本年一月中日より月給十二圓にて土木掛を拜命し加古川土木派出所詰となりて高砂加古川間の土木工事の監督を爲し居たりし處去る十一日午後四時半頃詰所を立田で高砂に赴く途中後より二名の土木工夫が駆け來りて橋本氏を呼止め西川原堤防の工事中には不完全の處あり共何れか宜しく御承認を願ひたいと頼みたれど同氏は之は自分の職權外なれば何れも致方なしと答へしに二人は尙もいろ／＼語り出で再三頼み聞へたれど更に聞入れざりしかば二人は突然橋本氏を突き倒し用意の刃物四かし數箇所を重傷を負はせ堤の上より川の中へ投げ落ちたる橋本氏を見向きもせず其後何處へか逃げ去りたり跡に橋本氏は辛うじて堤上に這ひ上り通り掛りの村民を呼止め暴行を受けたるよしを告げて此より村長に急報せしめられたれば即ち役場員駆け來り取敢へず醫師の許に負傷者を呼び寄せ込み早速手當を爲したれども出血多かりし爲めか翌日午前四時終に絶命したるよし橋本氏は二人とも兇行の顔を見知り居たれど姓名は分らず此工事は武州八王子の者が請負ひ居るよしなれば其配下の者たるに相違なく目下嚴しく取調中なりと云ふ

○全國紡績業會合の結果 去る十二日の夜大阪中之嶋銀水樓に開き全國紡績業者協議の結果は前號の電報に見へしが尙ほ其詳報を聞くに、全國紡績業者の玉買より取寄すべき棉花の航送を日本郵船會社に托する事は異存なく可決し同會社に托せし後に重り起るべき懸念ある他汽船會社の競争に對する申合は即ち他汽船會社に於て此方の約定運賃(一俵に付一圓五十錢)より引下げるよとあるも紡績業者は其差金を以て郵船會社に對する保護として支拂ふ事に衆議一決せり然れども同業は未だ全國紡績業會合の議を経たるものにあらずれば兎に角右決議の決議を郵船會社に協議し同會社にて承諾の上は臨時聯合會を開き然る後意よ約定を

○自由新聞主筆の更迭 自由新聞社にては今度社務を擴張し紙面を改良せんと計畫ある由にて近々内現任主筆金森通倫氏は同社を退き更に栗原亮一小松三省の兩代議士入社して筆硯に従事する管なりと云

○土木官吏殺害せらる 兵庫縣の臨時雇橋本實忠氏(二十二年)は本年一月中日より月給十二圓にて土木掛を拜命し加古川土木派出所詰となりて高砂加古川間の土木工事の監督を爲し居たりし處去る十一日午後四時半頃詰所を立田で高砂に赴く途中後より二名の土木工夫が駆け來りて橋本氏を呼止め西川原堤防の工事中には不完全の處あり共何れか宜しく御承認を願ひたいと頼みたれど同氏は之は自分の職權外なれば何れも致方なしと答へしに二人は尙もいろ／＼語り出で再三頼み聞へたれど更に聞入れざりしかば二人は突然橋本氏を突き倒し用意の刃物四かし數箇所を重傷を負はせ堤の上より川の中へ投げ落ちたる橋本氏を見向きもせず其後何處へか逃げ去りたり跡に橋本氏は辛うじて堤上に這ひ上り通り掛りの村民を呼止め暴行を受けたるよしを告げて此より村長に急報せしめられたれば即ち役場員駆け來り取敢へず醫師の許に負傷者を呼び寄せ込み早速手當を爲したれども出血多かりし爲めか翌日午前四時終に絶命したるよし橋本氏は二人とも兇行の顔を見知り居たれど姓名は分らず此工事は武州八王子の者が請負ひ居るよしなれば其配下の者たるに相違なく目下嚴しく取調中なりと云ふ

○自由新聞主筆の更迭 自由新聞社にては今度社務を擴張し紙面を改良せんと計畫ある由にて近々内現任主筆金森通倫氏は同社を退き更に栗原亮一小松三省の兩代議士入社して筆硯に従事する管なりと云

○土木官吏殺害せらる 兵庫縣の臨時雇橋本實忠氏(二十二年)は本年一月中日より月給十二圓にて土木掛を拜命し加古川土木派出所詰となりて高砂加古川間の土木工事の監督を爲し居たりし處去る十一日午後四時半頃詰所を立田で高砂に赴く途中後より二名の土木工夫が駆け來りて橋本氏を呼止め西川原堤防の工事中には不完全の處あり共何れか宜しく御承認を願ひたいと頼みたれど同氏は之は自分の職權外なれば何れも致方なしと答へしに二人は尙もいろ／＼語り出で再三頼み聞へたれど更に聞入れざりしかば二人は突然橋本氏を突き倒し用意の刃物四かし數箇所を重傷を負はせ堤の上より川の中へ投げ落ちたる橋本氏を見向きもせず其後何處へか逃げ去りたり跡に橋本氏は辛うじて堤上に這ひ上り通り掛りの村民を呼止め暴行を受けたるよしを告げて此より村長に急報せしめられたれば即ち役場員駆け來り取敢へず醫師の許に負傷者を呼び寄せ込み早速手當を爲したれども出血多かりし爲めか翌日午前四時終に絶命したるよし橋本氏は二人とも兇行の顔を見知り居たれど姓名は分らず此工事は武州八王子の者が請負ひ居るよしなれば其配下の者たるに相違なく目下嚴しく取調中なりと云ふ

○自由新聞主筆の更迭 自由新聞社にては今度社務を擴張し紙面を改良せんと計畫ある由にて近々内現任主筆金森通倫氏は同社を退き更に栗原亮一小松三省の兩代議士入社して筆硯に従事する管なりと云

○土木官吏殺害せらる 兵庫縣の臨時雇橋本實忠氏(二十二年)は本年一月中日より月給十二圓にて土木掛を拜命し加古川土木派出所詰となりて高砂加古川間の土木工事の監督を爲し居たりし處去る十一日午後四時半頃詰所を立田で高砂に赴く途中後より二名の土木工夫が駆け來りて橋本氏を呼止め西川原堤防の工事中には不完全の處あり共何れか宜しく御承認を願ひたいと頼みたれど同氏は之は自分の職權外なれば何れも致方なしと答へしに二人は尙もいろ／＼語り出で再三頼み聞へたれど更に聞入れざりしかば二人は突然橋本氏を突き倒し用意の刃物四かし數箇所を重傷を負はせ堤の上より川の中へ投げ落ちたる橋本氏を見向きもせず其後何處へか逃げ去りたり跡に橋本氏は辛うじて堤上に這ひ上り通り掛りの村民を呼止め暴行を受けたるよしを告げて此より村長に急報せしめられたれば即ち役場員駆け來り取敢へず醫師の許に負傷者を呼び寄せ込み早速手當を爲したれども出血多かりし爲めか翌日午前四時終に絶命したるよし橋本氏は二人とも兇行の顔を見知り居たれど姓名は分らず此工事は武州八王子の者が請負ひ居るよしなれば其配下の者たるに相違なく目下嚴しく取調中なりと云ふ

○自由新聞主筆の更迭 自由新聞社にては今度社務を擴張し紙面を改良せんと計畫ある由にて近々内現任主筆金森通倫氏は同社を退き更に栗原亮一小松三省の兩代議士入社して筆硯に従事する管なりと云

○土木官吏殺害せらる 兵庫縣の臨時雇橋本實忠氏(二十二年)は本年一月中日より月給十二圓にて土木掛を拜命し加古川土木派出所詰となりて高砂加古川間の土木工事の監督を爲し居たりし處去る十一日午後四時半頃詰所を立田で高砂に赴く途中後より二名の土木工夫が駆け來りて橋本氏を呼止め西川原堤防の工事中には不完全の處あり共何れか宜しく御承認を願ひたいと頼みたれど同氏は之は自分の職權外なれば何れも致方なしと答へしに二人は尙もいろ／＼語り出で再三頼み聞へたれど更に聞入れざりしかば二人は突然橋本氏を突き倒し用意の刃物四かし數箇所を重傷を負はせ堤の上より川の中へ投げ落ちたる橋本氏を見向きもせず其後何處へか逃げ去りたり跡に橋本氏は辛うじて堤上に這ひ上り通り掛りの村民を呼止め暴行を受けたるよしを告げて此より村長に急報せしめられたれば即ち役場員駆け來り取敢へず醫師の許に負傷者を呼び寄せ込み早速手當を爲したれども出血多かりし爲めか翌日午前四時終に絶命したるよし橋本氏は二人とも兇行の顔を見知り居たれど姓名は分らず此工事は武州八王子の者が請負ひ居るよしなれば其配下の者たるに相違なく目下嚴しく取調中なりと云ふ

○自由新聞主筆の更迭 自由新聞社にては今度社務を擴張し紙面を改良せんと計畫ある由にて近々内現任主筆金森通倫氏は同社を退き更に栗原亮一小松三省の兩代議士入社して筆硯に従事する管なりと云

○土木官吏殺害せらる 兵庫縣の臨時雇橋本實忠氏(二十二年)は本年一月中日より月給十二圓にて土木掛を拜命し加古川土木派出所詰となりて高砂加古川間の土木工事の監督を爲し居たりし處去る十一日午後四時半頃詰所を立田で高砂に赴く途中後より二名の土木工夫が駆け來りて橋本氏を呼止め西川原堤防の工事中には不完全の處あり共何れか宜しく御承認を願ひたいと頼みたれど同氏は之は自分の職權外なれば何れも致方なしと答へしに二人は尙もいろ／＼語り出で再三頼み聞へたれど更に聞入れざりしかば二人は突然橋本氏を突き倒し用意の刃物四かし數箇所を重傷を負はせ堤の上より川の中へ投げ落ちたる橋本氏を見向きもせず其後何處へか逃げ去りたり跡に橋本氏は辛うじて堤上に這ひ上り通り掛りの村民を呼止め暴行を受けたるよしを告げて此より村長に急報せしめられたれば即ち役場員駆け來り取敢へず醫師の許に負傷者を呼び寄せ込み早速手當を爲したれども出血多かりし爲めか翌日午前四時終に絶命したるよし橋本氏は二人とも兇行の顔を見知り居たれど姓名は分らず此工事は武州八王子の者が請負ひ居るよしなれば其配下の者たるに相違なく目下嚴しく取調中なりと云ふ

○自由新聞主筆の更迭 自由新聞社にては今度社務を擴張し紙面を改良せんと計畫ある由にて近々内現任主筆金森通倫氏は同社を退き更に栗原亮一小松三省の兩代議士入社して筆硯に従事する管なりと云

○土木官吏殺害せらる 兵庫縣の臨時雇橋本實忠氏(二十二年)は本年一月中日より月給十二圓にて土木掛を拜命し加古川土木派出所詰となりて高砂加古川間の土木工事の監督を爲し居たりし處去る十一日午後四時半頃詰所を立田で高砂に赴く途中後より二名の土木工夫が駆け來りて橋本氏を呼止め西川原堤防の工事中には不完全の處あり共何れか宜しく御承認を願ひたいと頼みたれど同氏は之は自分の職權外なれば何れも致方なしと答へしに二人は尙もいろ／＼語り出で再三頼み聞へたれど更に聞入れざりしかば二人は突然橋本氏を突き倒し用意の刃物四かし數箇所を重傷を負はせ堤の上より川の中へ投げ落ちたる橋本氏を見向きもせず其後何處へか逃げ去りたり跡に橋本氏は辛うじて堤上に這ひ上り通り掛りの村民を呼止め暴行を受けたるよしを告げて此より村長に急報せしめられたれば即ち役場員駆け來り取敢へず醫師の許に負傷者を呼び寄せ込み早速手當を爲したれども出血多かりし爲めか翌日午前四時終に絶命したるよし橋本氏は二人とも兇行の顔を見知り居たれど姓名は分らず此工事は武州八王子の者が請負ひ居るよしなれば其配下の者たるに相違なく目下嚴しく取調中なりと云ふ